

令和 6 年度藤沢市地産地消推 進事業実行委員会事業計画 (中間報告)

新たな一次産品の創出に向けた農産物の 試作支援

2

予算額：100,000円 執行済額：0円

計画の位置付：P.41【重点】(1)藤沢ブランドの創出（ア 藤沢ブランドとなる新たな一次産品の創出）

目標：かながわブランドへの登録 1件 実績：0件

- ▶ 「茅ヶ崎のトルコナス」や「菜速あやせコーン」の事例を参考に、地域の特性を活かした藤沢ブランドとなる新たな一次産品の候補として、生産者が戸別に生産している農産物の組織的な生産を支援します。
- ▶ SDG s の視点を念頭に、「飲食物+a」の価値を創出し、消費者に選ばれる一次産品の創出を目指します。
- ▶ 令和6年度は、新たに「湘南ちがさきMILK」と「湘南伊勢原のさかもとのたまご」が「かながわブランド」に登録されています。



湘南ちがさきMILK



さかもとのたまご



未利用魚を活用した加工品の開発支援 及び学校給食での活用検討【拡充】

予算額：200,000円 **執行済額：0円**

計画の位置付：P.41【重点】(1)藤沢ブランドの創出（イ 藤沢産農水産物を利用した加工品の開発支援、ウ 未利用魚の認知度向上）
P.43【重点】(2)藤沢産農水産物等の学校・保育園給食供給強化（イ 藤沢産農水産物等の利用促進）

目標：小学校・特別支援学校36校での給食提供 **実績：0校**

- ▶ 前年度の取組の課題（保管や仕分け）を踏まえ、公立小学校・特別支援学校全校で25,000食の給食提供を目指します。
- ▶ 最終的には、加工費や原材料費を支援することなく、利用できる体制構築を目指します。
- ▶ 藤沢の水産物を学校給食で活用することにより、地域の水産業の理解及び食育の促進を図ります。
- ▶ 価値が乏しい未利用魚を活用することにより、食品ロス解消や付加価値向上を図ります。
- ▶ 完成した加工品は、江の島片瀬漁協等と協力し、学校給食以外での活用についても検討します。

漁獲期間：2025年1月まで
予定食数：25,000食
対象魚：ワカシ（ブリの幼魚。歩留まりや脂の乗りが悪く、市場価値が低い。）
必要数量：1,200kg

■スキーム■

- ①江の島沖定置網での漁獲
- ②小田原での一次加工（ミンチ）
- ③小田原での二次加工（味付、成形）
- ④保管、仕分け及び各学校への配送
- ⑤給食提供

⇒上記スキームで実施予定でしたが、漁獲されず実施できませんでした。

藤沢産農産物を利用した加工品の開発支援

予算額：100,000円 **執行済額：100,000円**

計画の位置付：P.41【重点】(1)藤沢ブランドの創出（イ 藤
沢産農水産物を利用した加工品の開発支援）

目標：開発支援した加工品の販売 **実績：ワイン販売**

- ▶ 2021年からワイン用ブドウ『メイヴ』の栽培に取り組んでいる社会福祉法人光友会に対し、加工品開発支援として、委託醸造費の一部を支援しました。
- ▶ 支援した加工品は販売が開始されたほか、11月23日にサンパール広場で開催された『藤沢ワイン祭り2024』で振る舞われました。
- ▶ 本取組より、農福連携の推進や荒廃農地の発生抑制などの効果がありました。
- ▶ 他事業者もワイン用ブドウの生産・加工に取り組んでいることから、先進他市への視察等を行い、構造改革特区制度を活用し産地としてのブランド力向上を検討します。



今年度収穫したメイヴ



販売開始したワイン

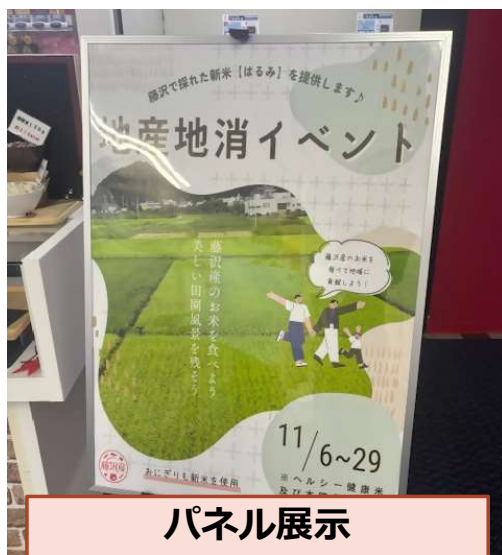
特定給食施設での藤沢産米の利用促進

予算額：50,000円 **執行済額：0円**

計画の位置付：P.43【重点(2)藤沢産農水産物等の学校・保育園給食供給強化(ア 藤沢産米の利用促進)

目標：特定給食施設での藤沢産米利用 60 t **実績：59.91 t (2月時点)**

- ▶ 恒常的に販売価格が生産費を下回っている藤沢産米について、水田の耕作放棄に伴う多面的機能（洪水調整、景観保護、生物多様性確保など）の喪失を予防するために、新たな販路を開拓するものですが、今年度は米の流通量が減少し、ニーズ及び価格が共に高まり、新たな販路の開拓は行いませんでした。
- ▶ 前年度に続き、市内の社員食堂等で藤沢産米の利用促進を図り、藤沢産米に給食が提供される際には、食堂においてパネル展示等を実施し、地産地消をPRしました。



パネル展示



社員食堂での給食提供

藤沢産米利用実績の内訳（2月時点）

公立小学校・養護学校	32.71 t
公立中学校	4.56 t
民間事業者	22.64 t



小学校でのふりふりバター体験事業 保育園児と生産者の交流事業【拡充】

予算額：60,000円【ふりふりバター体験事業分】**執行済額：21,448円**
計画の位置付：P.43【重点(2)藤沢産農水産物等の学校・保育園給食供給強化(ウ 生産者等との交流による藤沢産農水産物等への理解促進)

予算額：100,000円【保育園児との交流分】**執行済額：45,256円**
計画の位置付：P.43【重点(2)藤沢産農水産物等の学校・保育園給食供給強化(ウ 生産者等との交流による藤沢産農水産物等への理解促進、オ 学校・保育園周辺で生産されている農産物の活用)
目標：生産者と交流した保育園児数 162名 **実績：43名**

- ▶ 市内小学校において、市内で搾乳された牛乳等を使用したバターづくり体験事業を実施し、市内畜産業への理解促進、地産地消及び食育の推進を図りました。※同日にやまゆりポーク生産者協議会と連携して畜産の授業も実施。実施日：12月12日。実施校：御所見小学校。
- ▶ 保育園周辺で生産されている農産物を給食へ供給する際に、生産者と保育園児の交流機会を設け、地域農水産業の理解促進及び食育の推進を図りました。明治保育園とまたの保育で実施。



畜産農家による出前授業



バケツ稲（収穫したお米を給食で提供したほか、稲わらで正月飾りを作成）



オーガニック給食の提供【新規】

7

予算額：100,000円 執行済額：33,600円

(2) 藤沢産農水産物等の学校・保育園給食供給強化（計画P43）
ウ 生産者等との交流による藤沢産農水産物等への理解促進
オ 学校・保育園周辺で生産されている農産物の活用
目標：オーガニック給食の提供 実績：2校で実施

- ▶ 藤沢市都市農業振興計画において、有機農業の取組面積拡大を目標として掲げていることを踏まえ、オーガニック給食の試験提供に取り組みました。
- ▶ 有機農産物を献立に取り入れるとともに、「給食だより」を通じて家庭への情報発信もあわせて行いました。

実施校：御所見小学校、中里小学校 使用食材：さつまいも（紅あずま） 献立：大学芋



提供された給食



地産地消イベント事業

オーガニックマルシェ、元気バザール、サンセットマルシェ

8

予算額：120,000円【ふじさわ元気バザール、サンセットマルシェ分】**執行済額：148,279円**

計画の位置付：P.47【重点】(3)地産地消の普及啓発・食育施策等との連携強化（ア 新しい生活様式に応じた藤沢産農水産物等を活用したイベント・講座の開催）

予算額：200,000円【オーガニックマルシェ分】**執行済額：148,690円**

計画の位置付：P.47【重点】(3)地産地消の普及啓発・食育施策等との連携強化（ア 新しい生活様式に応じた藤沢産農水産物等を活用したイベント・講座の開催）目標：来場者数 865名（前年度の120%）**実績：来場者数737名**

- ▶ 「第2次藤沢市都市農業振興基本計画」において、有機農業の取組面積の割合を拡大することを目標に設定したことから、有機農業に着目したイベントを継続開催しました。

開催日：12月8日（日） 会場：神台公園

イベント内容：有機野菜の直売、キッチンカー、縁日、モルック体験

また、1月もミニオーガニックマルシェとして開催を継続しました。

- ▶ 奇数月第2土曜日に藤沢駅北口等で開催されている「ふじさわ元気バザール」や毎週月曜日・水曜日・金曜日に藤沢市役所サンセット広場で開催されている「藤沢産サンセットマルシェ」の中で、藤沢産農水産物のPRを行いました。
- ▶ 湘南Tサイトの夏祭りに出店し、藤沢産農水産物のPRを行いました。



オーガニックマルシェ



Tサイト夏祭り

花育体験イベント事業 PR用花き等購入費

予算額：100,000円【花育体験イベント事業】**執行済額：78,625円**
計画の位置付：P.47【重点(3)地産地消の普及啓発・食育施策等との連携強化（ア 新しい生活様式に応じた藤沢産農水産物等を活用したイベント・講座の開催、イ 生産者と消費者の交流イベント等の開催）

予算額：100,000円【PR用花き等購入費】**執行済額：56,900円**
計画の位置付：P.47【重点(3)地産地消の普及啓発・食育施策等との連携強化（ア 新しい生活様式に応じた藤沢産農水産物等を活用したイベント・講座の開催）
目標：市役所本庁舎以外での展示。花き以外の農産物の展示。
実績：市民センター、図書館、保育園等で、野菜や米を展示。

- ▶ 子どもを対象に花の寄せ植え体験を実施し、寄せ植え体験と生産者との交流を通じて、藤沢の花きに対する知識や理解を深めてもらうことにより地産地消の推進を図りました。

開催日：12月8日（日） 会場：神台公園 受講者数：23名（+保護者）

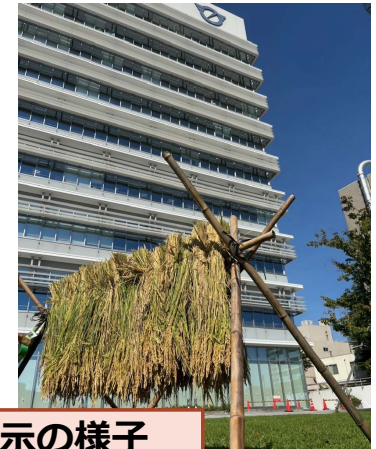
- ▶ 市役所本庁舎・市民センター・図書館・保育園等において季節の農産物を展示し、PRを行いました。



花育体験イベント開催の様子



農産物展示の様子



緑育体験イベント事業【新規】

予算額：100,000円【緑育体験イベント事業】**執行済額：102,032円**

計画の位置付：P.47【重点(3)地産地消の普及啓発・食育施策等との連携強化（ア 新しい生活様式に応じた藤沢産農水産物等を活用したイベント・講座の開催、イ 生産者と消費者の交流イベント等の開催）

- ▶ 藤沢市植木生産組合を講師に招き、緑育体験イベント開催することで、より市民に植木生産を身近に感じてもらう機会を創出しました。当日は、植木生産組合の組合長他10名に、参加者の各テーブルを回って、きめ細かく指導して頂き、参加者の満足度が高い講座になりました。

開催日：10月26日（土） 会場：さがみ農協緑化流通センター 参加者：9家族12名



緑育キットでブルーベリーを植え替える様子

ロゴマークシールとSNSを活用した 「藤沢産」の認知度向上

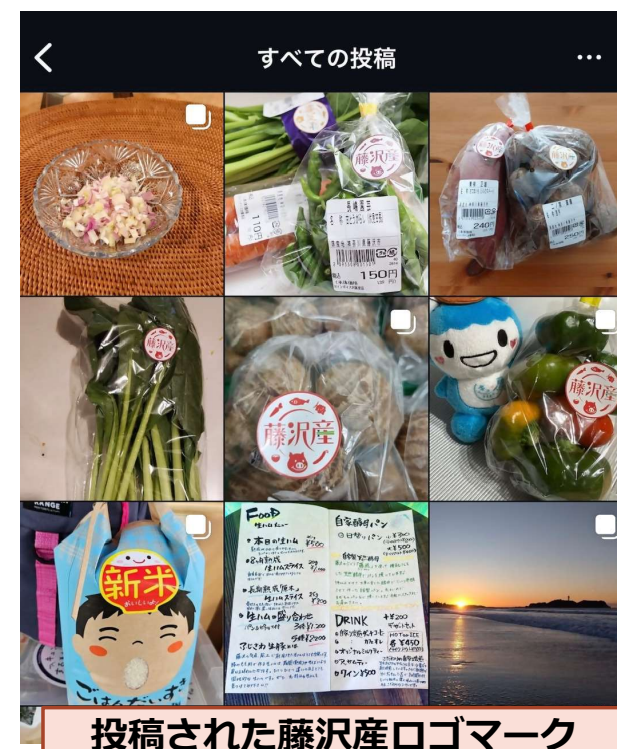
予算額：50,000円 **執行済額：40,802円**
 計画の位置付：P.47【重点】(3)地産地消の普及啓
 発・食育施策等との連携強化（才 藤沢産農水産物
 等の表示）
 目標：藤沢産ロゴマークの認知度 46.42%

- ▶ 「藤沢産」ロゴマークシールの貼られた農水産物の写真をInstagramに投稿していただいた方に、抽選で藤沢産農水産物及び加工品をプレゼントしました。

【実施期間】 10月～11月（地産地消推進月間）

【実施方法】

- ・おいしい藤沢産Instagramをフォローする。
- ・#おいしい藤沢産を付けて投稿する。
- ・「藤沢産」ロゴマークシールの貼られた農水産物の写真を投稿する。
- ・実施期間内に上記条件を満たす投稿を8アカウントに対し、プレゼントを実施しました。



動画・PVの作成

予算額：100,000円 **執行済額：0円**

計画の位置付：P.51【長期】(1)藤沢産農水産物の付加価値向上に取り組む施策（ウ）
藤沢産農水産物等のおいしい・旬の普及啓発・情報提供（ウ）「おいしい藤沢産」
ホームページ等での情報発信）

目標：動画投稿本数15本。総動画再生回数15,000回。

- ▶ 昨年度開設したYouTubeチャンネル「おいしい藤沢産TV」へ新たな動画を投稿し、藤沢産農産物の『旬』『生産者のこだわり』『美味しい調理方法』を紹介することにより、地産地消の取り組みを推進します。
- ▶ 事務局職員が撮影を行うなどして、コスト削減を図ります。
- ▶ 事務局PCは、WEBフィルタリングの規制があるほか、アプリケーションのインストールが不可であるため、編集作業は専門業者へ委託します。
- ▶ 藤沢産利用推進店のPVを作成し、認証制度のインセンティブとします。

◆動画企画案◆

タイトル：「藤沢産利用推進店の紹介」

構成：オープニング～店舗紹介～インタビュー～エンディング（1分程度に短くまとめる）

藤沢産利用推進店PR用「食べ歩きマップ」の作成【拡充】

13

予算額：200,000円 執行済額：0円

計画の位置付：P.49【長期】(1)藤沢産農水産物の付加価値向上に取り組む施策（工 藤沢産農水産物等の需要拡大・供給強化（ア） 藤沢産利用推進店の充実）

- ▶ これまで、エリア毎に作成していた「食べ歩きマップ」について、メニュー別のマップを作成します。

現在、「湘南しらす」を提供する藤沢産利用推進店を紹介する「食べ歩きマップ」を作成中です。
また、藤沢駅周辺の「食べ歩きマップ」の需要が高いことから、増刷を予定しています。

藤沢産利用推進店とは？

藤沢市では、地産地消を推進するための事業「藤沢産利用推進店」制度を実施しています。

この制度は「藤沢産」農水産物、食品を取り扱う飲食店等を「藤沢産利用推進店」として認定し、積極的にPRすることで、地産地消の推進と地産農水産物の消費拡大を目的として実施する事業です。

認定されますと、藤沢市ホームページ等を利用し、利用推進店のPRを行っています。また、認定証やのぼり旗等を貸与します。「地元食材を使用するお店です!!」という目印として各店舗で活用していただいています。

さらに詳しく知りたい方はこちらのQRコードをチェック!!



利用推進店はこのマークが目印!!



「藤沢産認定ラベル」

- みんぎょん
- ひまぎょん
- 主な使用地元産食材

認定ラベルとは、2017年からラベル別認定制度が導入され、みんぎょん・ひまぎょん・ひまぎょんの店舗より多くの藤沢産食材を使用しています。



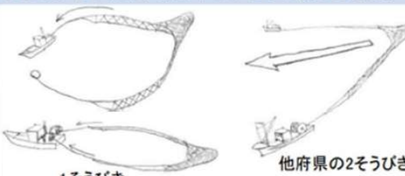
「湘南しらす」とは

【「しらす」とは】

しらすはいわし類の仔魚・稚魚の総称です。春のしらすの多くは黒潮に乗って沖からきたものであり、夏しらすや秋しらすは沿岸域で生まれ育ったものです。

【「湘南しらす」の特徴】

(1)品質優先の漁法
しらす漁は、2隻の漁船が網を曳く2そう曳きと、1隻で曳く1そう曳きがあります。神奈川県のみしらす漁業は1そう曳きで、網を曳く時間が短く、一度に獲れる量が少ないため、網の中でしらすが傷みません。



1そうびき 他府県の2そうびき

(2)漁場が近く高鮮度
湘南しらすの漁場は、黒潮が流れる沖合に向かって開けている相模湾。相模湾の中でも、各浜からそれぞれ目の前の漁場で操業し、漁獲から水揚げまで時間をかけません。近さを活かして、1回の操業を短時間で切り上げ、1日のうちに複数回漁場を往復する操業パターンもあり、鮮度を追い求めています。

(3)とれ立て鮮度で加工・直売
漁業者が自ら加工・直売します。

かながわブランドでは、生しらすは漁獲した日に販売、釜揚げ・しらす干しは釜茹での際に塩以外の保存料や添加物を加えない等の出荷基準を定めています。

出典：神奈川県しらす船曳網漁業連絡協議会ホームページ

藤沢産利用推進店 食べ歩きマップ

【湘南しらす版】

生でも釜揚げでも!!
「湘南しらす」を食べるなら藤沢産利用推進店で!



表紙



問合せ 藤沢市農業水産課 0466-50-3532

藻場保全事業【新規】

予算額：100,000円 執行済額：0円

(2) 本市農水産業を維持・発展されるため継続的に取り組む施策（計画P53）

イ 持続可能な生産環境への支援
(イ) つくり育てる漁業の推進

14

- ▶ 全国的に広がりを見せている磯焼けについては、江の島周辺も例外ではありません。
- ▶ 現在、本市では食害生物（海藻を食べるアイゴ）駆除作業や藻場保全に取り組む『江ノ島フィッシャーマンズプロジェクト』に対し補助を行っています。
- ▶ 海藻の生い茂る「藻場」は生命のゆりかごとも呼ばれ、水産動物の生育場や二酸化炭素の吸収源として極めて重要であることから、更なる藻場保全に取り組むものです。
- ▶ 神奈川県水産技術センターでは、通常の1/3の期間（半年）で成熟する「早熟性カジメ」の大量培養と、藻場を再生する研究に取り組んでいます。神奈川県や漁協、民間団体と連携し、江の島周辺においても、このような技術を活用した藻場保全事業に取り組めます。



『江の島の海を守ろう』フェスタ
11月10日（日）片瀬漁港において、『かながわ海業』モデル事業として、漁業や海の環境問題を啓発するイベントを開催しました。
主催：ブルーカーボン江の島共同体

その他、予算を伴わない事業等①

- ▶ 第1回実行委員会でご提案いただいた、『湘南藤沢市民マラソン』での藤沢産農水産物のPRについて、湘南藤沢市民マラソン実行委員会事務局のご協力のもと、湘南しらすを提供する予定でしたが、不漁により納品不可とのことで、実施できませんでした。実行委員会は、次年度以降もご協力いただけたとのことでした。提供する農水産物の内容について、委員の皆様からのご意見を基に検討したいと考えております。
 - ・ 給水所は混雑防止のため、最低限の給食としており、完走者に対し江の島のメイン会場で配布する。
 - ・ 今年は饅頭、スープ、から揚げ、洋菓子、クッキー、藤沢炒麺、エナジードリンク等が振るまわれた。
 - ・ 全て一口サイズで、1個あたりの単価は50円程度。
 - ・ 1,000人分程度用意できるのが理想。
- ▶ 藤沢駅周辺地区エリアマネジメント主催の『うみべのFARMERS MARKET』が10月から1月まで毎月、藤沢駅北口サンパレット広場やサンパール広場で開催され、野菜販売や地元食材を使ったフードトラックが出店しました。
- ▶ 藤沢市みらい創造財団が運営する辻堂青少年会館では、JAさがみ・わいわい市・市内農家の皆様が提供した食材を活用した調理実習『つじせいキッチン』が定期開催されました。
- ▶ 7月1日から12月14日まで、毎月第2・第4土曜日に旧桔梗屋のスペースを活用し、マルシェを開催しました。

その他、予算を伴わない事業等②

- ▶ ODAKYU湘南GATE6階の南図書館において、10月1日から10月31日まで地産地消に関する企画展示を行うと共に、映画上映会実施時に講演会を行いました。



- ▶ 滝の沢小学校において、地産地消に関する出前事業を授業しました。



金額	☆	ポイント
4,350	☆20	12
4,200	☆24	8
4,515	☆10	23
4,250	☆22	10
4,100	☆21	11

予算の執行見込み

予算額	1,831,712円	
支出済額	774,192円	
予算残額	1,057,520円	
支出予定額	40,000円	(PR用花卉等購入費)
	100,000円	(動画・PV作成費)
	200,000円	(食べ歩きマップ作成費)
	100,000円	(藻場保全事業費)
予算残見込	617,520円	⇒ 戻入を予定